

Sr. Kobayashi  
Rua Galvão Bueno 407

# 日伯新開

本紙定價一年  
外國郵稅共  
金六角  
Caixa, 375 S. Paulo



## 定協印日

### 買付棉織越問題 無事に解決

號によれば本邦の一ヶ年に於ける印棉輸入總量が百五十萬俵を超過する場合これが次期棉花年度に繰越し得ることになつてゐるが、日本側は印協定書の根本方針により前者を主張し印度側は協定書の公文に則り後者を主張したが、結果も亦印度の主張が上記を認めるに至つた、即ち三千五百三十四俵、二年度十三萬七千五百二俵の超過

## 議會本院族貴

### 航空省の新設案 首相質問に同感

## 貴院改革問題等

【東京一日】本日の貴院本會議は午後一時五十五分再開、午前引續き大河子登壇し、貴族院の機構問題につき貴院改革案の内容とこれに對する自己の意見を述べ、貴院改革問題の起るにはそこに種々なる原因があるとして貴院改革のよつて起つた沿革を詳説し、現下局に鑑み貴院改革問題については政府も又慎重に考慮されたいとして林首相のこれに對する所信を質す

林首相 貴院改革については目成その意見を尊重して行く可成りである。

水野氏 私は數回この壇上で航空政策の統一を要望して來たが次いで兼攝外相、文相より過日の山隈、田中兩氏に對する質疑の答辯あり代つて水野録太郎氏登壇

## 國民思想の悪化は農村の不安に因る

小山氏 農救濟を叫ぶ

【東京二日】本日の衆議院本會議に於いて三宅壯一氏（社大）登壇

三宅氏 我農村問題が政治的に重視されたのは五・一五事件以後である、而もその農村対策は悉く地主、富農本位のものである。

團體契約組合を認め、農村の不安を解かれたるに於て地主に當るべく最後に部落遊牧の解放、小農保護法の徹底等に關する山崎農相の所見を求める

## 佐藤新外相就任

武氏に對する外相就任交渉は本日午後二時二十分より院内大臣室において行はれた、正午十二時三十分辭去了したが、一方林首相は直ちに參内、交渉の結果を奏上御認可を得、同五時三十分風雨間において首相侍立の上新外相親任式行はせられ、同時に林兼攝外相の兼官を解かれた

水野氏 私は數回この壇上で航空政策の統一を要望して來たが次いで兼攝外相、文相より過日の山隈、田中兩氏に對する質疑の答辯あり代つて水野録太郎氏登壇

水野氏 私は數回この壇上で航空政策の統一を要望して來たが次いで兼攝外相、文相より過日の山隈、田中兩氏に對する質疑の答辯あり代つて水野録太郎氏登壇

水野氏 最近勵業債券を發行する時時弊長姫をしてこれが購入に狂奔してゐるではないか、又競馬は年々非常な賄賂を加へて行くではないか、若し結ぶ、代つて小山倉之助（民）

と呼ばれば

如何なる考を持つてゐるかとて

とて政府の所信を質して降壇

等を述べ

水野氏 最近勵業債券を發行する時時弊長姫をしてこれが購入に狂奔してゐるではないか、又競馬は年々非常な賄賂を加へて行くではないか、若し

## 農家の賽コロ 遊び

聖州農村はいよいよ收穫季節に入らんとし何れの地方も繁忙を極めるであらうが、この季節に甚だしく、今年もこの棉景氣では恐らく空前の大流行を見るではないかと想像される。大體農業それ自體がお天氣相手に一年を賭しての大賭博であるといふ説もあり、この考へ方を以てすれば農業必ずしも確實なものでなく寧ろ商業に遠く及ばぬとの理窟たゞねでないが、たゞ理論として賭博に類しがたしく確實性を缺くものであるにもせよ、お天氣といふ人力によく左右し得ないものゝ患を必須條件とし、更に殆んど一年に近い長期に亘る努力を絶対不可缺とするところ運氣天賦のいはゆる賭博と雲泥の相違がある。別言すれば農業に拂はれる忍耐、努力は他の何れの職業にも劣らぬ大きさ深さを要求せられ、しかもそれは一家の家長から女子供に至るまで全家族の生活と離すべからざる密接な關係を有つてゐる、であるから收穫季ともなれば一家舉つてこれに従事し、一年間の努力の總決算をなすと共に、老幼男女の別なくひどく撲らひ合ふが人情の自然であり、母國農村における秋祭はまさしくこの意味を抱んだ家庭制度の國の美しい年中行事の隨一と考へられる、當地在住同胞農家の實情といへどもその例に洩れる苦なく、むしろその家庭の労働は恩安機関に缺ける點より見て母國におけると異なつてよく、從つて甚だしいと云つてよく、從つてこれに報われらるるところは更に然る敦くあつてよい筈である、然るにも拘らず實際はそれに及ばずある、勿論、當國の農業様式は母國におけると異り、種子の仕入れから生産物の販賣に至るまでシチオに在つて行ひ得る場合甚だ勘く、それ／＼物資の集散地又は遠く中央市場に出張る必要あり、その衝に當る家長の外出勝ちなは亦止むを得ないが、しかしそれは何處までも業

政府が取引市場に干與するこ

務の一部であつてシチオに於けられた上更にその家族が現に收穫する、而にこれを對外的に見るときものである。吾らは從來屢々同胞農家の家に耽め、而してそれは何の因縁によるのであらうか主として棉作地帯に甚だしく、今年もこの棉景氣では恐らく空前の大流行を見ることではないかと想像される。而してそれは何の因縁によるのであらうか主として棉作地帯に甚だしく、今年もこの棉景氣では恐らく空前の大流行を見ることではないかと想像される。而してそれは何の因縁によるのであらうか主として棉作地

に耽め、而してそれは何の因縁によるのであらうか主として棉作地

に耽め、而してそれは何の因縁によるのであらうか主として棉作地

に耽め、而してそれは何の因縁によるのであらうか主として棉作地

に耽め、而してそれは何の因縁によるのであらうか主として棉作地

に耽め、而してそれは何の因縁によるのであらうか主として棉作地

に耽め、而してそれは何の因縁によるのであらうか主として棉作地

に耽め、而してそれは何の因縁によるのであらうか主として棉作地

## と領統大ル

## 資本家の鬪争

### 製鐵労働者に凱歌

ルーズベルト大統領は前任期中産業復興法その他の新政策を提案、大資本家側からはファッショだと攻撃をうけたが、今回又之に酷似せる労働時間並質銀制に関する新法案を議會に提案したが、之がため國內各産業労働者間には資本家相手の争議勃然となり、製鐵労働組合など遂にその要求をほど貴徹するに到つた

莫大小労動

メリヤス業界

總同盟

勞動組合

（紐育二日）

張し來つたものである

莫大小労動

メリヤス業界

在紐育ノルツ商會は二月十八日發行のボレチニにおいて最近の世界珈琲市場における伯國品の位置を報じ伯國の現珈琲政策につき大要左の通り言及するところあつた

即ち歐米における一般珈琲動向は、従来も屢々行はれたことを統計によつて示した後、九三年六月一日以降七ヶ月間の伯國珈琲輸出高は八百五十一萬九千俵で前年同期の一千万八十六萬一千俵減であるが更に同期間における消費率を前年同期に對比すれば

伯國品減少率一一・一%他國品増加率一一・一%でその消費市場における位置を見れば(七月)

ことは從來も屢々行はれたことであるが、この半官機關の市場出動は延いて投機師の利用するところとなり彼等は全く珈琲局の保證の下に投機を行つてゐる如き觀を呈してゐるのである、併しながら若し珈琲局が買付を

## 自ら墓穴を掘る 伯國の珈琲政策



停止し又はその代行機關を通じ手持品を吐き出した際はどうなるか、必ずや市價に影響し市場は混亂を來すべくそれが爲に引所進出を難じ、轉じて三割の値段を受けるは實に眞面目な取引商ではないか、と珈琲局の取引は益々窮境に陥るより外あるまいと論じた

て手持品を吐き出した際はどうなるか、必ずや市價に影響し市場は混亂を來すべくそれが爲に引所進出を難じ、轉じて三割の値段を受けるは實に眞面目な取引商ではないか、と珈琲局の取引は益々窮境に陥るより外あるまいと論じた

### 主要商品市況

(二月三日) 買値

アロース

アグリヤ(トス)

同(ボン)

ミーリヨ

エマレリン

エマレロン

ムラチーニ

アマレーラ

&lt;p

その翌日、日課を了へて朝食を済すと船は南米の自由港モントビデオに入港した、此處は以前（昨年十二月までは）南米全米唯一の對露取引港であり、各地に根を張つた共産黨員が赤化運動の財源を仰いでゐた都市だ、町は大きくはないが軍備などの不生産的歳出を要する保護國の特典と云はうか住民は至つて豊かな生活をして居り、物價も相當高い、バス一臺借りて市内見物をした、何分ツーリストを主要なる財源として居るだけに遊ぶには適して居る、海岸に近い處に大きなブームがあつた、よく見ると穂の海が水に小魚が泳いで居るではない

雪の  
アンデス  
二十年見ぬ日本  
越へて

# 越へて 元ぬ日本へ

「カーナバルのあの色とりどりのテーブルも此なら、差當りひもと名のつくものはビジャマの紐あり、岱山のひもあり……」  
「まあ、いやらしい」と歓ちやん、紅限つた薄い唇を光らかにして、わざとらしい額の鍔、この面にひかされて集る男ありとは、ブラジルも戯い婆なり、女早りも久しいものと云ひたいが、奥ノロエステの四十婆さんの女郎が、ひく手あまたで儲してゐると云ふレツキとした事實に徴しても、こゝも又女ならではの國アリマス

「サテ、お互生れながらにして、浪地やんも流石に一寸頬張らせて、安指輪の青く光る掌を反し、『アラ小父さん、イヤだわと肩をたぐく

昔忘れぬ  
ひとの思ひ

十  
讀書補

でガ  
見るさ」と小父さんイ気になつて骨だらけの胸を叩いたデス  
「アーラ頬もしわ、うれしいわ」と浪子さん流石に助の見え  
る顔のヒモノの様な小父さんの黒い胸には飛びこみかねたけど  
ヒモなくして老け行くさびしさ

(○)自動回轉抱込式棉拔根機  
過去三農年の試験済の鋼製でマルカは「日丸」製造者は石橋之れ程堅い完全に作用する品は他にありません  
バストス移住地  
ランシナリヤ郵局二〇六 石橋農具研究

# 所 るの 歯科医院

之 市 郎

顧問灸法學の泰斗原醫學博士  
鍼灸道の司家 (聖市中國旅館氣付)  
宮内省典藥頭 白川法眼公秘法相傳第一  
延命山 家傳秘法

# 上 父 の 民 移 の 火 鍼

## 鍼灸 治湯 本院

しがは我等局外者でさえ痛切に感するところである、ソロバン高い大阪商人がその行詰れる販路を新方面に求めんと焦つて居るのをうまく利用したのであつて主催者の側の胸の良さは實に一〇〇パーセントラインガントと併せて吾人は最大の敵意を拂ふ次第である宿賃、車賃、通辨料からチツブに至るまでその頭をハネて居りはせぬかと疑ふ口さがなき連中に理由なしとの證據は何處をおせば出來るやら私は判断に苦しむ次第であると同時に用品者にとつても三萬や五萬のこの際の支出は最小限度の授業料として主催者に感謝せねばなるまい、要は過去を語らず次に来るべき大きい魔の手を避けて切角タ、キ上げた身代を臺無しにせぬ心掛が肝腎である、私に最後のラジルが冤罪に陥らぬ様一同行者全員を祈る、最後の貫つた

そヒモなき社界は實在せずとは  
眞理ですぞ」話がイヤに六ヶし  
くなつたが物も理屈のつけ様で  
特に日本人は憚だ帶だ、腰紐だ  
向ふ鉢巻だとヒモを廻はしたが  
る人種で、毛唐の様に何にもかも  
鉗々で穴にして失ふ人種に比べ  
るとヤ、こしいらしいデス

○

「デモ、料亭の女給さんは  
ヒモつきは困るわ」と浪子よく  
よく閉口したらしく口振り  
「フン」と、ヒモと云へば、亭  
主か間夫か恥足だらう、一體何  
が多いんだい」

一、「満洲と違つて、ゴロはない  
でしょ、どうせ亭主との名のつく  
男ですか、自然愛の結晶だか、  
愛の殘滓だか、子供までくつ、  
いて大小とりまぜの紐になつて  
るのよ」イヤハヤ亭主もこうな  
つては可愛想です

「ヒモつき、それも亭主子供を  
抱へて女給稼ぎせにや食へんな  
んて、重大なる社界の缺陷だぜ  
デモ女給兼女房兼職業婦人であ  
つても、浮氣さへしなきや、結  
局悪く云へまいテ……」などと  
モ

「好きになれなきや仕方だ  
飛びこんだ力で浮かぶ蛙  
モ

「あまり、やかましく云へ  
モラも出来んぢやネエカ、  
付きもひにもよりけりだけざ  
金の紐か、棺の紐でもついて  
る、ハヤリの服に組づくめ

○

「お皿帽子を横つちよに被つ  
大尻ふつて町を歩けらア」  
「イヤだわ」

「ソルテードで、將來有望  
でもつかんで早く身を固め  
とぢや、ひもつきを厭がる  
ひものないのを嘆く心理と  
らしいと見るがドーチや  
失禮しちやうわ」

「浪公も大概にして紐を選  
男の子が『ぐらばた』を買  
なもんで、柄ぢや質段ぢや  
ひぢやとやかまし云ふよ  
らドレもいやになる様なも  
」「好きになれなきや仕方だ  
飛びこんだ力で浮かぶ蛙  
モ

豆ニュース

**AO ESPORTE NACIONAL**  
Rua São Bento, 256 -- Caixa Postal, 2446 -- São P.

競技用具  
テニス用具  
野球用具  
水泳用具  
フットボール用具  
ボクシング  
ボクシング用具  
メターブル等  
カツブ等

内外  
運動具  
スポーツ  
破格低廉此の好機を御利用下さ  
ました

● ● ● 「カタログ贈呈」 ● ● ●

御注文御照會は左記へ  
サンパウロ市・ルア・サンベント二五五  
電話二二一九六  
アオ・エ・ス・ポルテ・ナショナル

日本文部松本文五

**A São Paulo-Brasil de Colonização Ltda.**

Rua Direita, 2 - 1º. andar salas 16 e 17 — S. Paulo

---

當會社では又クレオ・コロニアル・ド・ビルの土地賣を開始致しました

同地はビラール郡内にあり、聖市より一三キロ、ソロカバより五〇キロ、州道通じ、動車で三時間の處に在ります

最良土質、マサツベー、黒赤土質、棉、ベタ、セボーラ、ミーリョ、フェジヨン、果野菜等凡てに最適地、全土耕作済み、各地共道完通、小川あり、良水良土の理想的健地で既に製材所、煉瓦工場、商店等が建つ居ります

五域以上現金拂又は賦拂、無利子にて分割御希望の方は聖市事務所迄お出で下さい  
當方にて土地御案内致します

バストス方面の御照會は

**優秀勤勉な日本人諸賢に**

**御知らせ**



## GYMNASIO MINERVA

Rua Liberdade, 240 — Telephone 7-8039 — São Paulo

聯邦政府認可監督

Direcção - Prof. Nestor Pereira Junior

中等科、高等科、商科、初等科、幼稚園、飛行學校、士官學校、鑑學校  
各豫備科、未だ空席あり轉學者受付ます

阿鷹商店

申上候

パウリスタ延長線マリリア市

サンルイス街三〇  
コロネル・ガルニヨ街角

敬白

## 開店御披露

謹啓酷暑の砌各位益々御清榮之段奉大賀候

陳者小生はれまでアラサツ・バ市に於て義父經營の武部商店  
に在つて大方諸彦の御愛顧を蒙り居候處今回皆様の御勧めに  
依り御當地マリリア市(サンルイス街三〇)コロネル・ガル  
ニヨ街角に外人所有の雜貨店を買收開業致し候間舊に  
倍し御最負御引立の程伏して奉懇願候尚商品は佳良にして堅牢且つ嶄新なる和洋特等品を取揃へ大  
勉強を以て貴需に應すべく候間是非々御買上げ被下度御願  
申上候

## Confeitaria "A Tartaruga", MARILIA

Rua São Luiz N. 79  
Caixa, 253 -- Tel. 126

MARILIA

## 移轉御披露

開店以來多大の御愛顧を蒙り御用命日に月に增加致候段感謝の  
致りに奉存候然るに漸く工場の狹隘を感じ尚一層諸彦の御便宜を計るべく弊  
店は今回邦人の中心地サン・ルイス街に工場店舗を新築し最も  
新しい御菓子を、然も他よりも廉價にて提供し得る域に達し申  
候この際工場より直接消費者への實をあげる爲一切の御菓子を  
取揃へ専心努力致す覺悟に御座候何卒倍舊の御愛顧願上候

敬白

マリリア市サン・ルイス街七九  
龜屋末廣

マリリア市サン・ルイス街七九

和洋御菓子一切製造卸小賣  
御祝儀用御佛事用の引模様  
鍵入ボックス類一切取次販賣  
日本品鑑詰類食料品一切  
菓子製造原料材料の販賣  
ベビーダ類一切の卸小賣

郵函二五三 電話一二六

謹

告

辱知諸賢各位

石橋恒四郎

私儀今般新たに創立されし日本人商事協會  
の幹部の一員と相成候に就いては止むなく  
ブルデンシア貯蓄銀行日本部主任として勤かれし石橋恒四郎  
氏は今回一身上の都合に依り日本人部主任を辭退致さ  
れ候に就き後繼者として岡本美佐雄氏が就任仕り候間  
此の段謹告に及候也

## PRUDENCIA CAPITALIZAÇÃO

CIA. NACIONAL PARA FAVORECER A ECONOMIA, S/A  
Capital realizado rs. 2.250.000\$000

Rua Senador Paulo Egydio, 15 -- Caixa Postal, 1843 -- S. Paulo

X	T	26	R	V	3	F	R	A
A	A	28	V	X	6	Dj	K	組債券
S	U	15	N	H	26	T	P	Cj
U	K	26	Q	Z	15	T	U	V
M	A	17	U	B	35	C	T	P
I	L	24	A	X	18	Z	T	D

10.....60.

B

2)

3)

4)

5)

6)

7)

8)

N

D

V

C

T

P

J

V

C

F

R

K

Q

T

U

V

C

P

J

V

C

F

R

K

Q

T

U

V

C

P

J

V

C

F

R

K

Q

T

U

V

C

P

J

V

C

F

R

K

Q

T

U

V

C

P

J

V

C

F

R

K

Q

T

U

V

C

P

J

V

C

F

R

K

Q

T

U

V

C

P

J

V

C

F

R

K

Q

T

U

V

C

P

J

V

C

F

R

K

Q

T

U

V

C

P

J

V

C

F

R

K

Q

T

U

V

C

P

J

V

C

F

R

K

Q

T

U

V

C

P

J

V

C

F

R

K

Q

T

U

V

C

P

J

V

C

F

R

K

Q

T

U

V

C

P

J

V

C

F



# NIPPAK SHIMBUN

Jornal Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII

S. Paulo - 5.ª-feira 4 de Março de 1937

Num. 1.115

## NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO  
SACK MIURA  
DIRETOR  
Masaaki Uchida  
GERENTE  
Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Oficinas  
Rua Maestro Cardim, 189  
Telephones: 7-8325 e 7-3326  
Caixa Postal, 375  
Endereço Telegráfico: "Nippak"  
SUCURSAL:

Rua Conde do Pinhal, 154  
Telephone 2-3926  
SÃO PAULO — Brasil

ASSINATURAS  
PARA O BRASIL  
Por anno ..... 30.000  
Por semestre ..... 16.000  
Número avulso ..... 5.000  
PARA O EXTERIOR  
Por anno ..... 60.000

ANNUNCIOS  
Temos à disposição dos interessados  
uma tabela completa de preços para  
anuncios nesta folha

## Notícias e telegrammas do Nippon

(Serviço especial do NIPPAK SHIMBUN e dos JORNALS)

### Comércio Exterior

A segunda dezena de  
Fevereiro continua  
desfavorável ao  
Nippon

Tokio, 20 — Publica o mi-  
nistério das Finanças os se-  
guentes dados referentes ao  
comércio exterior no período  
de 10 a 20 do corrente mês:  
Exportação 79.380.000 yens;  
Importação 116.506.000 yens;

Total 196.486.000 yens  
Saldo a favor da im-  
portação 36.526.000 yens

O saldo da importação des-  
de o começo de Janeiro atin-  
giu a 193.128.000 yens, ultra-  
passando de 50.384.000 yens  
o saldo de igual período do  
ano passado.

O principais artigos de ex-  
portação foram (em yens):

Tecidos de seda	13.815.000
Seda	11.710.000
Tecidos de seda	3.821.000
Ferro	2.593.000
Máquinas	2.527.000
Conservas em lata	2.027.000
Tecidos de seda	1.854.000
Artigos de meias	1.077.000
Tecidos de lã	1.312.000
Óleos vegetais	247.000
Objectos de ferro	1.436.000
Porcelanas	970.000
Linhões de algodão	487.000
Linhões de seda	
artificial	658.000

Seguem-se outros artigos  
de menor importância como  
papel, madeiras, chapéos, fa-  
rinha de trigo, etc.

Importação:

Algodão	29.546.000
Lã	15.972.000
Ferro	5.342.000
Oleo leve e pesado	4.137.000
Máquinas	3.976.000
Feijão	5.354.000
Borracha crua	4.823.000
Madeiras	873.000
Polpas	2.075.000
Hulha	1.512.000
Aço	625.000
Sulphato de Ammonia	434.000

Vem em seguida: accessó-  
rios de automóveis e automó-  
veis, resíduos de soja, trigo,  
assucar, linho, etc.

## A situação política

### Os últimos debates sobre o orçamento

Tokio, 20 — Tomaram par-  
te saliente na sessão de hoje  
na Câmara dos Representan-  
tes, em que se discutiu ainda  
o projecto do orçamento, os  
deputados Ohta, do Seiyukai,  
Yamamasa, Oguchi, Toyoda  
e os vice-ministros Hayashi, Yuki  
e os vice-ministros da F. zen-  
da e do Exterior.

O deputado Teyoda, do  
Minseito, falando do orçame-  
nto da defesa nacional, focali-  
ou o desenvolvimento do  
armamento russo, a necessi-  
tade de assegurar a defesa  
das fronteiras entre o Man-  
dchukuo e a U. R. S. S., o  
problema da pesca nos mares  
do Norte, as relações nippo-  
chinenses e sustentou a ne-  
cessidade de uma approxima-  
ção mais estreita entre os  
povos japoneses e americanos.

O primeiro ministro, sr.  
Hayashi, em resposta deci-  
diu jogar absolutamente no  
terreno a approximação nipo-  
yankees, visto ter entrado  
num período de não-limitação  
dos armamentos.

O primeiro ministro, sr.  
Hayashi, em resposta deci-  
diu jogar absolutamente no  
terreno a approximação nipo-  
yankees, visto ter entrado  
num período de não-limitação  
dos armamentos.

O novo titular do Exterior,  
desempenhou sua missão di-  
plomática num total de treze  
anos na U. R. S. S., tomou  
parte em mais de dez con-  
ferências internacionais e é o  
mais antigo dos embaixado-  
res nossos em serviço activo.

Tokio, 27 — A discussão  
do projecto do orçamento ini-  
ciada no dia 18 na Dieta ter-  
minou hoje, pela aprovação  
global do mesmo, devendo  
passar amanhã para as sub-  
comissões, as quais darão  
seu parecer quanto às partes  
de que forem encarregadas  
de estudar.

A aprovação do orçamen-  
to, pela Dieta, sem grandes  
oposições, é considerada co-  
mo consequência da attitudé  
do apoio ao Gabinete Hayashi  
adoptada pelos partidos Seiyu-  
kai e Minseito, em vista da  
situação crítica em que se  
acha o paiz. Outrosim, esses  
partidos, teriam a final tomado  
essa attitudé, por considerar  
improficia qualquer mudança  
na actual situação política

Tokio, 1 — O sr. Yuki,  
ministro das Finanças, decla-  
rou na Dieta que não  
está sendo encarada absolu-  
tamente qualquer possibili-  
dade de desvalorização do yen.

Os círculos bem informa-  
dos afirmam que o governo  
japonês tencionava fazer uma  
remessa de ouro no valor de

16 milhões entre 11 e 15 de  
Março, e consideravam pos-  
síveis ainda outras remessas,

cujos montantes seriam de...  
200.000.000 de yens.

## Alguns dados estatísticos sobre o Japão actual

(continuação)

### Estradas de rodagem

No Japão, as estradas de roda-  
gem constituem obras dos governos  
central, provincial, municipal, e  
distrital. As estradas de rodagem  
são numerosas, cruzando todo o  
território nipônico, em todas as  
direções. Era o comprimento em  
kilómetros o seguinte das estradas  
de rodagem nacionais, provin-  
ciais, municipais e distritais, exis-  
tentes nos anos de 1929 e 1933:

	Kilómetros	1929	1933
Nac.	8.290.255	8.371.643	
Pro.	97.209.012	104.149.878	
Mun.	27.350.885	40.454.503	
Dis.	805.678.014	812.295.571	
Varias	3.664.006	3.278.228	
Total	942.192.172	968.549.571	

Nota — Por estradas distri-  
ctais comprehendem-se as estrada  
das aldeias e vilas.

(continua)

### Adiantamento scien- tífico do Nippon

#### Os surpreendentes progres- sos da sismologia, na terra dos terremotos

O Japão é um paiz vul-  
cânico e por conseguinte são ali-  
frequentes os tremores de  
terra, de maior ou menor in-  
tensidade. Por razão da fre-  
quência dos fenômenos si-  
micos, a sismologia é uma  
sciencia em que o Nippon  
leva a dianteira no mundo.

Muitos estudiosos têm se  
esforçado, principalmente, pa-  
ra descobrir um meio de pre-  
venir a população com ante-  
cedencia a irrupção de um  
vulcão ou o tremor de terra.

Um dos modos de prognos-  
ticar os terremotos é o de  
diagnosticar a condição da  
crosta terrestre mediante o  
exame das modificações que  
se verificam na gravitação da  
mesma. No mar, esses exa-  
mes devem ser realizados de-  
baixo da agua, por meio de  
submarinos especialmente  
equipados, por não ser pos-  
sível fazê-lo em uma barca a  
vela, em continuo movimen-  
to, faltando a estabilidade no  
equilíbrio.

A nova invenção do pro-  
fessor Chuji Tsuboi, do Obser-  
vatorio Sismológico de Tokio,  
permite medir, por meio de  
um apparelho especial, a gra-  
vitação terrestre em uma  
barca sobre a superficie do

Em 1905, quando se fabri-  
cava o sulphato de am-  
monia como um sub-producto  
da industria de ferro, a pro-  
dução total em todo o Japão,  
não alcançava 50 toneladas.  
Porém uma vez iniciada a fa-  
bricação "de facto", a  
industria teve um desenvol-  
vimento realmente enorme.  
A escala do progresso é sur-  
preendente: 7.000 toneladas  
em 1912; 370.000, em 1930;  
600.000 em 1931, e...  
1.200.000 toneladas, em 1935.

### Produção de sulphato de ammonia no Nippon

持つなら  
クルゼイロ印を  
持たねば恥!!  
近代生活の必需品!  
それはラヂオ受信機ですよ  
刻々に全世界の出来事を知り得る  
のはラヂオのみです

